

八代農業高校で取得可能な資格一覧

園芸科学科

農業技術検定

取得することで、農業の経営に必要な知識と技術の到達度がわかります。更に給与や昇進で優遇され、国家検定(園芸装飾、造園)試験の一部が免除されます。

園芸装飾技能検定

園芸装飾は、観賞用植物の鉢植えを配置して、室内の装飾を行う作業及びそれらの植物を維持管理する作業です。この検定は国家検定です。

初級バイオ技術者認定試験

バイオテクノロジーを利用して、植物・畜産の品種改良や増産の研究開発などへ発展させることの出来る資格です。

毒物劇物取扱責任者

日本において毒物及び劇物の輸入、製造や販売を行い、管理・監督するのに必要な資格です。農薬管理指導士などにも繋がる資格です。

食品科学科

食品衛生責任者

飲食店営業、菓子製造業、食肉販売業や魚介類販売業などの営業を行うには、施設又はその部門ごとに「食品衛生責任者」を設置することが義務づけられています。この資格を取得することで関連する企業への就職などが有利になります。

食生活アドバイザー検定2級

食生活を総合的に見直す幅広い見識を持ち、的確な指導やアドバイスをするスペシャリストが食生活アドバイザーです。活躍のフィールドは幅広く、流通、販売、食品関係の企業などで優遇されます。

食物調理技術検定1級

高度な技術が調理に応用でき、課題に応じた供応食、行事食等の献立作成および調理ができることを証明する検定です。

農業工学科

測量士補

測量士補(そくりょうしほ)とは、測量を行う為に必要となる国家資格です。建設、設計、測量に関する企業で優遇され、土地家屋調査士の二次試験が免除もされます。将来的な独立も可能です。

2級土木施工管理技士

河川、道路、橋梁などの土木工事において、主任技術者または、監理技術者として施工計画を作成し、現場における工程管理、安全管理など工事施工に必要な技術上の管理などを行うことが出来る資格です。

2級エクステリアプランナー

エクステリア(住宅の外構部分)の工事において、その設計、工事監理に従事する者の基本的知識を有している者に与えられる称号です。この資格は、住宅設計、住宅建築、造園設計、造園施工、エクステリア関連の流通や販売等の仕事にとても役立ちます。

電気工事士(第2種)

需要設備500kW未満の一般用電気工作物の電気工事を行うことが出来る資格です。自動車関連や建築設備企業のほか、ビルマネジメント関係の企業で優遇されます。

3級造園技能士

造園関係の企業で優遇されます。

基礎製図検定

敷地内の投影図や、断面図、立体の展開図などの空間認識力を鍛えます。

トレース検定

「トレース」とは製図において、元の図面を書き写す行為のことです。この検定はその技術の速さ、正確さ、綺麗さを試すものです。

計算技術検定

全国工業高等学校長協会主催の検定試験です。四則・関数・実務などの計算のほか、方程式や不等式、統計処理などの計算力を検定します。

福祉家庭科

訪問介護員養成研修 2 級課程

訪問介護員が行う業務に関する知識や技術を修得します。介護を職業として活動したい方に向けています。3 級を修了していない方も 2 級から受講可能です。この研修は、国家資格である介護福祉士へ繋がる研修です。介護福祉士になるには、3 年以上の実務経験を積んだ後に国家試験を受験して資格を取得する道のほか、介護福祉士の専門学校を卒業して試験なしで資格を取得できる道などがあります。

被服製作技術検定 1 級 (和服)・(洋服)

文部科学省認定の試験です。和服ではひとえ羽織、洋服では総裏ジャケットなどの制作を行うことで、その技術力を証明します。さらに食物調理技術検定 1 級を取得することで家庭科技術検定三冠王となり、全国表彰の対象となります。

食物調理技術検定 1 級

* 食品科学科の欄に記載。

装授きもの着学院専攻科卒業証

着物の着付けなどが出来ることを証明する資格です。

全学科共通

ボイラ取扱者

小規模ボイラ、小型ボイラに関する一定の作業をすることが出来るようになる資格です。本資格で取扱いが可能なボイラは、クリーニング業や小規模の製造業の工程での蒸気・温水供給に使うボイラ、食品製造で、釜や食器洗い機の蒸気・温水供給に使うボイラ、小規模の病院やホテル・旅館、温浴施設で空気調和や給湯に使うボイラです。

玉掛け技能講習

玉掛けとはクレーンなどに鉄材などの荷を吊らせる際に、ワイヤー、ロープ、チェーンなどを荷に掛け、確認し、荷を確実に運べるようにクレーン運転手に対し笛と手で合図を送るという作業です。クレーン運転士などの資格のみでは吊り上げの際の荷掛け、荷はずしができないため、クレーン業務のための必須の資格と言えます。

危険物取扱者

危険物を取り扱い、またはその取扱いに立ち会うために必要となる日本の国家資格です。乙 4 では、ガソリンや灯油、軽油などの取り扱いができるようになり、職種によりますが、持っているだけで給与が上がることもあります。

フォークリフト技能講習

フォークリフトとは車体前部に取り付けた二本のフォーク状の棒を上下させ、荷物の積み降ろしや運搬をする車両です。技能講習を修了すると、積載最大荷重に関わらず、フォークリフトを操作、運転することができます。

アーク溶接技能講習

アーク溶接とは、金属電極と被溶接物の間にアーク（火花）を発生させ、その熱を利用して溶接（電気で切る）することです。機械製造などの仕事をする際に役に立ちます。

ガス溶接技能講習

ガス溶接とは可燃性ガスと酸素を用い、金属の溶接、溶断、加熱の作業（炎の熱で切る）を示します。技能講習を修了すると、可燃性ガスと酸素を使用した金属の溶接、溶断、加熱の作業を行うことができます。

小型車両系建設機械運転技能講習

機械重量 3 トン未満の車両系建設機械（コンボ、ホイールローダ、ブルドーザなど）の運転ができるようになります。合格率も高く、取得することで仕事の幅も広がります。

情報処理検定

パソコンの表計算ソフトやデータベースソフトの有効な利用を通じて、情報処理能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピュータ活用能力の向上を図る試験です。

全商ワープロ実務検定

ワープロで速く、正確に文章を作り上げる能力を問う検定です。

その他

秘書検定、英語検定、漢字検定など。